

2026年(令和8年)3月オホーツク管内倒産集計

令和8年4月2日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

昨年8月以来の倒産発生

小売・建設など5件・負債4億円超が表面化

| | | | |
|--------|------|---------------|----------|
| ■前月比 | 件数 | 5件増加(令和8年 2月 | 0件) |
| | 負債総額 | 41,603万円増加(" | 0円) |
| <hr/> | | | |
| ■前年同月比 | 件数 | 4件増加(令和7年 3月 | 1件) |
| | 負債総額 | 37,985万円増加(" | 3,618万円) |

2026年(令和8年)3月の発生状況

2026年3月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生件数5件・負債総額4億1,603万円だった。倒産発生は昨年8月以来実に7か月ぶり。小康状態を保っていた状況から一変し、懸念していた事態が一気に表面化した。

発生した5件の所在は北見市3件、紋別市1件、美幌町1件で内2件が個人事業主。業種は卸・小売業、建設業、農業。販売不振や代表者の体調不良が主要因とされるが、いずれの企業も厳しい情勢下において先行きの見通しが立たなくなり事業継続を断念した模様だ。

過去5か年における3月の倒産発生は21年1件、22年0件、23年2件、24年2件、25年1件で平均発生件数は1.2件。同負債総額は7,258万円。

過去5年間と今年1～3月の発生推移

過去5年間の1～3月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は2.8件。同負債総額は2億7,527万円となっている。

今年は3月に入り破綻の表面化が相次いだことから、過去5か年の平均を大きく上回っている。

過去5年間と今年1～3月の件数・負債額

| 年 別 | 件 数 | 負 債 額 |
|-------|-----|-----------|
| 2021年 | 3件 | 1億6,200万円 |
| 2022年 | 0件 | 0円 |
| 2023年 | 3件 | 1億5,000万円 |
| 2024年 | 4件 | 3億7,792万円 |
| 2025年 | 4件 | 6億8,643万円 |
| 2026年 | 5件 | 4億1,603万円 |

今後の見通しと問題点

昨年は各種物価高騰・高止まりや深刻な人手不足などの経営課題に加え、景気の先行き不安感や金利上昇など様々な要因が忍び寄り、各企業の収益圧迫や個人の消費マインド低下にも拍車をかけた。今年は新政権の発足により物価の安定さらには国民の実質所得増加へとつながる政策実現への期待が高まっていたが、ここへ来て中東情勢の緊迫化による究極の原油価格高騰が多方面に影響を広げ、再び各種物価高騰の流れが加速するなど中小事業者にとっては頭の痛い状況が続いている。

ここオホーツク管内は長らく小康状態を保っていた状況から一変し、一気に企業破綻が表面化するなどまさに懸念していた事態が明るみとなった。さらに、中東情勢の動向如何により中小事業者の収益圧迫の要因が加速度的に増し、今なお続く究極の人手不足や自治体の財政問題などネガティブな要素も追い打ちをかけ、これらが事業継続の大きな障壁となる可能性も指摘されている。新型コロナ終焉から数年が経過し、事業の立て直し・健全化に向けて鋭意努力を続けている各事業者においては、今しばらく正念場が続くのではないだろうか。

